

# 鹿児島県医師連盟 FAXニュース

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL: 099 - 213 - 1011 FAX: 099 - 213 - 1012

## 7月10日投票のダブル選

### いとう祐一郎氏 のむら哲郎氏

#### 全力で支援を

任期満了に伴う鹿児島県知事選挙と参院選挙はいずれも7月10日に投・開票が行われるダブル選挙となった。

鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長、800人)は、知事選では、現職のいとう祐一郎氏(68)、参院選では、選挙区の現職、自民党公認候補、のむら哲郎氏(72)を推薦。池田委員長は前回に続き、いとう氏の後援会長を務めている。

いとう氏はこれまでの3期12年、行財政改革を断行して、財政再建を成し遂げたほか、「かごしま将来ビジョン」を策定して、着実に成果を上げており、県政運営の手堅さ、将来を展望した諸政策への対応は内外ともに高い評価を得ている。また、「3つの安全」をキーワードとして医療サービスの充実などにも努め、数多くの実績をあげている。

そして今回の選挙では、雇用機会の創設や子育て支援、医療・介護の充実などを掲げて、戦いに臨む。

選挙は、新人の無所属、三反園訓氏(57)との一騎打ちとなるが、「多選」に対する

批判なども一部にあり、陣営では「厳しい戦いになる。最後まで全力で戦い抜く」としている。

一方、参院選で3期目を目指すのむら氏はJA出身の、農政に精通した政治家。これまで、農林水産大臣政務官などの要職を歴任している。農政の諸課題への取り組みは、高い評価を得ており、本県出身の森山農水大臣とのコンビで、鹿児島県の農業振興へ県民の期待は高まりを見せている。

参院選は6月22日公示、知事選は6月23日が告示日だが、推薦団体には、いっそうの支持拡大が求められている。

医師連盟の池田委員長は「知事選も参院選も、我々が医政活動をする上で重要な戦いだ。鹿児島の医療構造が大きく変わる中で県民に迷惑をかけないためにも、医師会の意思が反映される体制を作らねばならない。最後の最後まで、組織を挙げて、全力で戦う」と決意を述べている。

(文責・事務局)